

令和4年度

登録左官基幹技能者認定試験問題（60分）

関東ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題（四肢択一法）

3. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 本冊子は、表紙を含めて9ページです。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
- (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

一般社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題 1 登録基幹技能者に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 登録基幹技能者は、現場での生産性向上に努める。
2. 登録基幹技能者は、コスト面で質の高い施工を確保する。
3. 登録基幹技能者は、安全面で質の高い施工を確保する。
4. 登録基幹技能者は、住生活面で機能性の高い施工を確保する。

問題 2 建設キャリアアップシステムに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 技能者に対して5段階の客観的な技能レベルが付与された。
2. 個々の技能者の能力を評価することが可能である。
3. 職種ごとに能力評価基準が策定された。
4. 登録基幹技能者は、能力評価基準の最高位（レベル4）要件の資格者である。

問題 3 登録基幹技能者の活用に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 登録基幹技能者は、主任技術者の要件の1つとして認められている。
2. 経営事項審査は経営規模、経営状況、技術力等が総合的に評価され、登録基幹技能者は、加点評価（3点）の対象となっている。
3. 登録基幹技能者は、刑法上においてもたいへん重視されている資格の1つである。
4. 登録基幹技能者は、公共工事の「総合評価方式」での加点対象項目及び元請企業の「優良技能者認定制度」での要件としても活用が進んでいる。

問題 4 登録基幹技能者に求められる能力に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 材料の温度、混練り度が判断できる。
2. 調査・分析結果から、対象物の全体像と要点を掌握することができる。
3. 対象物にまつわる諸条件を的確に捉え、客観的な観点から、結論を導き出すことができる。
4. 的確な分析力と判断力を有し、客観的な観点から最良の結論を導き出すことができる。

問題 5 登録基幹技能者に必要な資質に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 熟達した直接的施工能力を有する。
2. 部下を指揮・指導できる。
3. その業種の一人前である。
4. 他業種との連絡・調整に努めることができる。

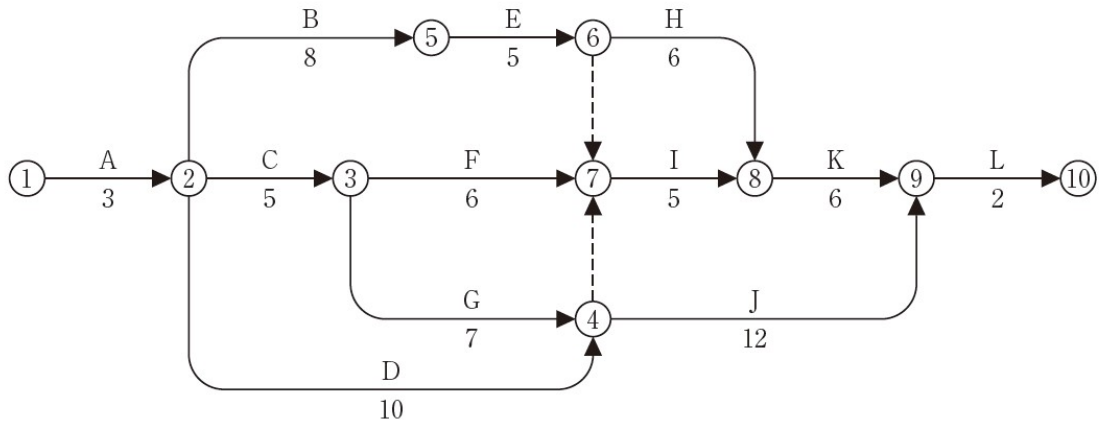
問題 6 登録基幹技能者としての法令の遵守に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 建設業務に対する労働者派遣は認められているので、「請負契約」を締結していながら、実態としては「労働者派遣契約」であるケースが多い。
2. 雇用契約とは、労働者が雇用者の指揮・命令に従って仕事をすることを約束し、雇用者は労働者から提供された労務に対して報酬（賃金）を支払うことを約束することにより成立する契約である。
3. 請負契約とは、請負者が契約に定められた仕事を完成することを約束し、発注者がその完成された仕事に対して報酬を支払うことを約束することにより成立する契約である。
4. 労働者派遣契約とは、自己が雇用する労働者との雇用関係を維持したまま、その労働者を他者の指揮・命令下において従事させることを内容とした契約である。

問題 7 登録基幹技能者が担うべき指導・教育、自己啓発に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 現場のペースに合わせた指導育成
2. 部下への信頼とコミュニケーション
3. 部下の幅広い職務能力の育成
4. 部下へ継続的に日常的に実施

問題 8 次の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



1. この工程表における工事の工期は、30 日である。
2. G 作業のトータルフロート (TF: 余裕日数) は、1 である。
3. この工程表のクリティカルパスは、A-B-E-H-K-L である。
4. I 作業の最遅終了時刻 (LFT) は、21 日である。

問題 9 新しい技術に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 3次元座標を計測することのできる GNSS (GPS) がある。
2. 3次元形状をデジタルデータとして大量の画像から3次元形状を復元する写真測量がある。
3. レーザーにより3次元形状を点群データとして記録するレーザースキャナ等がある。
4. 3次元座標を計測する測量機器に平板測量がある。

問題 10 建設業法に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 下請負契約では、書面契約以外の方法による契約として口頭による約束がある。
2. 下請負契約書面の交付については、災害時等でやむを得ない場合を除き、原則として下請工事の着工前に行わなければならない。
3. 下請負契約書面には建設業法で定める一定の事項を記載することが必要である。
4. 注文書・請書による下請負契約を締結する場合は、次に掲げる場合に応じた要件を満たさなければならない。

問題 1 1 JIS A 6909（建築用仕上塗材）の仕上塗材の種類と呼び名に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 内装厚塗材Gとは、内装せっこう系厚付け仕上塗材のことである。
2. 内装薄塗材Cとは、内装消石灰・ドロマイトプラスター系薄付け仕上塗材のことである。
3. 外装薄塗材Eとは、外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材のことである。
4. 内装薄塗材Wとは、内装水溶性樹脂系薄付け仕上塗材のことである。

問題 1 2 左官用語の解説に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 防水モルタルの施工は、主として左官工事業者が行う。
2. ドライアウトとは、モルタルが水和反応を完了するために必要な水分が下地に吸収され不足し、完全硬化できない状態になることである。
3. ブリードとは、ひび割れ部にセメントペースト等の結合材を注入することをいう。
4. ブリージングとはコンクリートおよびモルタルの練り混ぜ水の一部が分離して上方に移動する現象である。

問題 1 3 左官工事に要求される品質管理に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 仕上面が平坦であること。
2. 仕上面の状態が全壁面に関して一様であること。
3. 設計上要求される耐火、防水、遮音、吸音、断熱、湿温調節などの性能を備えていること。
4. 必要な強度があり、表面硬度が高いこと。

問題 1 4 塗り壁の故障の原因、内容、是正措置とそれぞれの組み合わせに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 硫化物を含む砂は、変色を発生しやすくなるので、取り替える処理が必要である。
2. 富調合による上塗りは、ひび割れや剥離を発生させるので、下塗りほど貧調合にする。
3. しっくいの色むらは、顔料の調合不正確によることがあり、計量に注意する。
4. 未乾燥のセメントモルタルにせっこうプラスターを塗り付けると、はく離やひび割れが発生するので、セメントモルタルを十分に乾燥させてから塗り付ける。

問題 1 5 在来木造軸組建築物の A 邸の外壁二層通気構法の設計仕様書で 1 から 4 のような記載があったが、記載内容に関して、**最も不適當**なものはどれか。

1. ラス下地板の断面寸法は 12mm×75mm とする。
2. 木軸側の防水紙は、アスファルトフェルト 430 とする。
3. ラスは 700 g / m²以上の異形ラスとする。
4. ステープルは、1019 J 程度のものを使用する。

問題 1 6 ALC パネルおよびセルフレベリング材に関して、**最も不適當**なものはどれか。

1. せっこう系セルフレベリング材は強度の強い、β型せっこうを用い、これに凝結調整材、高流動化剤及び骨材を混合したものである。
2. セメント系セルフレベリング材は鉄部の防錆効果を有する。
3. ALC パネル下地は、工場でオートクレイブ（高温・高圧養生）した超軽量コンクリートパネルである。
4. コンクリートに比べ吸水性が大きく、強度・剛性とも小さく、一般に厚手の左官塗りを行ってはならない。

問題 1 7 左官用混和材（剤）に関して、最も不適當なものはどれか。

1. エマルションは乳化剤の作用により小さな粒になって水の中に分散したものである。
2. ポゾランは細粉状物質で、主成分がシリカで、セメント・石灰の硬化を助長し、強度と耐久性を増加させる。
3. 再乳化形粉末樹脂は加水して攪拌・混合することで合成樹脂エマルションになるもので、効果は合成樹脂系混和材と同等である。
4. メチルセルロースは界面活性剤で、セメントモルタルの収縮を防ぐための工業薬品として製造されていたものである。

問題 18 左官用語の解説に関して、最も不適当なものはどれか。

1. つけ送りとは、躯体の補修工事の一部としてコンクリート・コンクリートブロック下地などで下塗りに先立ち、仕上げ厚を均等にするため、セメントモルタルなどで予め不陸を調整することである。
2. 「とろ」とはドロドロのセメントや石灰に砂等を加えない水練りしペースト状にしたものである。
3. 糊捏ねとは、砂粒状の仕上塗材にのりまたは合成樹脂を混合した仕上塗材の一種のことである。
4. 結合材（けつごうざい）とは、セメント・プラスター・消石灰・壁土・合成樹脂など、他の左官材料を結合硬化させるもののことである。

問題 19 施工管理における三大管理とその関連性に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 工程と原価の関係は、施工速度を上げると単位時間当たりの出来高が増え原価は安くなる。
2. 工程と原価の関係で、施工速度を上げ過ぎると突貫作業となり、逆に原価は高くなる。
3. 原価と品質の関係は、一般的に品質を良くすると原価は低くなりますが、品質を下げると原価は上がる。
4. 品質と工程の関係は、品質を良くすると一般的に時間がかかり施工速度は遅くなるが、施工速度をムリに上げようとするとも品質は一般的に下がる。

問題 20 仮設設備計画に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 仮設備は使用目的・使用期間等に応じて計画、設計し、作業中の衝撃・振動等を十分考慮に入れた設計荷重で強度計算を行い、また労働安全衛生法に基づいた計画とする。
2. 仮設備という呼び方につられて、ややもすると手を抜いたりおろそかになったりしやすく、事故の原因となって、かえって多くの費用が必要となる場合もある。
3. 仮設備は、工事目的物ではなく、臨時的なものであって工事完成後、原則として取り除かれる。
4. 仮設備は、本工事とは異なり、発注者から構造・規模・仕様等を指定されない。

問題 2 1 建設工事費の構成に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 一般管理費等とは、工事施工にあたる受注者の継続運営に必要な費用としての一般管理費と付加利益を指す。
2. 建築工事費は直接工事費と共通費で構成されている。
3. 直接工事費とは、工事目的物を作るのに直接必要とする費用である。
4. 共通仮設費とは、工事施工にあたり工事現場を管理運営するために必要な費用であり、現場従業員の給与手当等や労務管理にかかる費用などを指す。

問題 2 2 原価管理の流れに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 請負契約に至った後に、現場条件に合わせた施工計画の詳細を検討し、実行予算を作成する。
2. 見積原価の管理では過去の実績等に頼らず、その都度、施工計画の検討、単価調査を行い、じっくりと時間を掛け、見積書を作成する。
3. 実行予算は、施工計画と一体で作成する。
4. 予実管理とは、実行予算と実績を比較しながら管理すること。

問題 2 3 わが国建設業における労働災害の現状について次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 労働災害には、就業中以外に通勤途上で負傷した災害も含まれる。
2. 死亡災害の原因は、建設工事全体では倒壊による事故が最も多い。
3. 建設業は、他産業に比べて労働災害発生率が高い産業である。
4. 建設業の安全対策が難しい理由の一つに、作業内容が日々変化することが挙げられる。

問題 2 4 各種労働災害防止について次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 型枠支保工の組立作業には、その技能講習を修了した者の中から選任する。
2. 居ながらリフォーム工事では、感電やガス爆発に注意する必要がある。
3. 高さが 1.0m の所で施工する足場組立・解体作業には、作業床を設置する必要がある。
4. 熱中症対策には、WBGT（暑さ指数）の活用は有効である。

問題 2 5 法で定められた建設現場における安全管理について次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 現場では、「4S」に努め、廃棄物は決められた場所以外に捨ててはいけない。
2. 作業員には、保護具の着用・使用の義務がある。
3. 雇入時の安全教育は、労働安全衛生法に定められている。
4. 複数業者が混在する 50 人以上の建設現場では、二次下請け業者は安全衛生責任者を選定する必要がない。